

記載例3 退職→残額は個人請求（普通徴収）の場合

市民税 給与支払報告 に係る給与所得者異動届出書 県民税 特別徴収

注) 特別徴収義務者指定番号は必ず記入して下さい。

小城市長様 平成29年10月4日提出		給与支払者 (特別徴収義務者)	名称 氏名 ○○○商事(株) <input type="checkbox"/>	個人番号又は法人番号 9876543210987	所在地 ○○県○○市○○町○○番地	処理事由 1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度	特別徴収義務者指定番号 8040345	連絡先 総務課 給与係 氏名 田中花子 電話 0912-345678 (内線 90)	
給与所得者 年度 29年度 1月1日現在の住所 給与の支払を受けなくなった後の住所	氏名 中村太郎 個人番号 123456789012	(旧姓) 生年月日 M.T.⑤H 40年1月2日	(ア) 特別徴収税額 (年税額) 円 177,000	(イ) 徴収済額 円 59,400	(ロ) 未徴収税額 (ア)-(イ) 円 117,600	異動年月日 29.9.30	異動の事由 ①退職 ②転勤 ③死亡 ④育休 ⑤その他	異動後の未徴収税額の徴収 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 ③普通徴収	退職金の支払額 (支払予定日) 円 15,000,000 (29年10月11日) 勤務年数 25年6月

◎転勤等による新しい勤務先において『特別徴収の継続』を希望される場合は、次の欄に記載してください。

給与所得者の新しい勤務先 名称 所在地	月割額 円を 月分から徴収するように連絡済です。 TEL 特別徴収義務者指定番号
---------------------------	--

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額（未徴収税額）を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

一括徴収の理由 1. 異動が平成 年12月31日までで、申出があったため (月 日申出) 2. 異動が平成 年1月1日以後で、特別徴収の継続の希望がないため	徴収予定額 円 (月 日納期限分)	左記徴収予定額は下記月分で納入します 月分 ※市記入欄
--	----------------------	-----------------------------------

退職金の支払いがある場合は記入して下さい。

3. 普通徴収に○印をしてください。

何月分まで特別徴収が済んでいるのかを記入してください。

◎退職後の残額が個人請求となる場合

届出書が { 7月中旬までに届けば、翌8月に個人請求します。(8月、10月、1月の3回払)
 { 9月中旬までに届けば、翌10月に個人請求します。(10月、1月の2回払)
 { これ以降に届けば、翌年1月の1回払いです。

◎退職される方には、その後の残額の請求があることをご説明願います。